

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
カウンセリング特論	講義	2	藤井裕子

記載不要

【授業のテーマ及び到達目標】

テーマ:カウンセリングとピアヘルピングの学びと実践

到達目標:1、カウンセリングやピアヘルピングの基本的な態度、理論を理解することができる。

2、カウンセリングを学び、日常生活において思いやりのあるより良い人間関係を構築する。

3、心理的支援を必要としている人に適切な支援を行うことができる。

【授業の概要】

カウンセリングの基本的な理論や技法を学ぶ。それらと関連付けながら、ピアヘルピングについての理解を深め、友人関係など日常生活において身近な人との間で実践できる力を身につける。授業の中ではグループセッションやロールプレイ等も行い、カウンセリングやピアヘルピングを体験的に習得する。

【全体の授業計画・内容】

1、オリエンテーション カウンセリングとは

【事前学習】新聞、書籍等からカウンセリングについての記事を読みまとめる (0.5時間)

【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる (0.5時間)

2、カウンセリングの基本的態度

【事前学習】テキストのp10からp16まで読みまとめる (0.5時間)

【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる (0.5時間)

3、カウンセリング理論 ①定義と略史

【事前学習】テキストのp16から22まで読みまとめる (0.5時間)

【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる (0.5時間)

4、カウンセリング理論 ②関係領域

【事前学習】テキストのp22からp33まで読みまとめる (0.5時間)

【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる (0.5時間)

5、ピアヘルピングのプロセスとピアヘルパーのパーソナリティ

【事前学習】テキストのp33からp46まで読みまとめる (0.5時間)

【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる (0.5時間)

6、カウンセリングスキル 言語的技法 ① 理論

【事前学習】テキストのp46から52まで読みまとめる (0.5時間)

【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる (0.5時間)

7、カウンセリングスキル 言語的技法 ② 実践

【事前学習】テキストのp52からp65まで読みまとめる (0.5時間)

【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる (0.5時間)

8、カウンセリングスキル 非言語的技法

【事前学習】テキストのp65からp71まで読みまとめる (0.5時間)

【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる (0.5時間)

9、カウンセリングにおける諸問題への対処法

<p>【事前学習】テキストのp71からp85まで読みまとめる(0.5時間)</p> <p>【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5時間)</p>
<p>10、ピアヘルパーの心構えとヘルピングスキル</p> <p>【事前学習】テキストのp85からp90まで読みまとめる(0.5時間)</p> <p>【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5時間)</p>
<p>11、青年期の課題とピアヘルパーの留意点 ①活動許容範囲</p> <p>【事前学習】テキストのp90からp110まで読みまとめる(0.5時間)</p> <p>【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5時間)</p>
<p>12、青年期の課題とピアヘルパーの留意点 ②学業、進路領域</p> <p>【事前学習】テキストのp110からp122まで読みまとめる(0.5時間)</p> <p>【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5時間)</p>
<p>13、青年期の課題とピアヘルパーの留意点 ③友人、グループ領域</p> <p>【事前学習】テキストのp122から129まで読みまとめる(0.5時間)</p> <p>【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5時間)</p>
<p>14、青年期の課題とピアヘルパーの留意点 ④関係修復、心理領域</p> <p>【事前学習】テキストのp129からp140まで読みまとめる(0.5時間)</p> <p>【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5時間)</p>
<p>15、振り返りとまとめ</p> <p>【事前学習】全体を通して理解できたか確認し疑問点をノートに書きだす(0.5時間)</p> <p>【事後学習】学習した内容を総合して各自のノートにまとめる(0.5時間)</p>
<p>【学習のあり方】テーマによっては、ロールプレイやグループ討議を通して実践的な演習も行う。積極的に参加すること。</p>
<p>【成績評価】定期試験:レポート(50%)</p> <p>平常試験:筆記試験およびレポート(50%)</p>
<p>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】毎回リアクションペーパーを用い学習状況を確認し、次回の講義で解説を行い質疑応答に対応する。</p> <p>提出されたレポートはコメントをつけて返却する。</p>
<p>【テキスト】</p> <p>日本教育カウンセラー協会編「ピアヘルパーハンドブック」図書文化社</p>
<p>【参考文献】</p> <p>前田重治「カウンセリング入門」有斐閣選書</p> <p>河合隼雄「カウンセリングの実際問題」誠信書房</p> <p>石井信子ほか著「乳幼児の発達臨床と保育カウンセリング」ふくろう出版</p>
<p>【実務経験の有無】</p> <p>実務経験など:教育委員会のスクールカウンセラーおよびスーパーバイザーとして勤務、東日本大震災等における緊急支援教育活動、教員や保育者研修の講師</p>